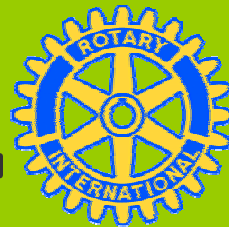


RI 第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月7日

RI 第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 山本 和男 幹事 白田 八束

【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】 office@tuchiura-rc.org

事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）【TEL】029-822-1250

【FAX】029-824-8830



RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005年～2006年度 国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕



どくだみの花

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38）
日本のロータリー創立：1920（大正9）

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2005～2006年度

6月第4例会プログラム 6月22日（第2387回）

点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
幹事報告
委員会報告
会食
卓話
にこにこBOX
出席報告
点鐘
ロータリーソング

会長
四つのテスト
親睦活動委員会

「会社法改正について」 河合 隆 会員
S.A.A
出席委員会
会長
それこそロータリー（1）

格調高く、和やかに

例会場：ホテルロイヤルレイク土浦 / 例会日時：木曜日 12:30～13:30

VOL. 45

先週の例会報告

1. 卓話「金投資のABC」

ワールド・ゴールド・カウンシル 日本・韓国地域代表 豊島 逸夫 氏

土浦は非常に懐かしい故郷でして、母方が菊地雅史君と同じ菊地の系統で中町、父は当時の築地出身で、私も土浦生まれです。父母が勤務の関係で東京に移りましたので、後は東京で育ちました。子供の時には夏休み毎に菊地の家に滞在して、菊地君と新川で鮒を釣ったり、ボウを釣ったのを覚えています。真鍋の方へ行って昆虫採集をしたりしました。そういう意味では懐かしい土地に来たなという感じがします。

私は年に100回以上この様なお話をさせて頂いていますが、金というのは株・国債・外国為替と違って、情報があまり手に入らないので、どうも特殊なもの又は悪徳商法で用心しなければならない印象が日本では非常に強いようです。

しかし、それは金の本当の姿ではありません。一つエピソードをお話しますと、私はスイス銀行で12年程トレーダーという仕事をしていました。チューリッヒで仕事が終わってスイス人の同僚の家に招かれ、皆で夕食を食べた後、必ずその家のおじいさん、おばあさんが出てきて私に家宝の金貨や様々な金を見せてくれるんです。スイス人は宗教的な迫害を受けて着の身着のまま、チューリッヒに逃げ込んだ人達の末裔で、昔ウィーンから逃げてきた時の金貨や様々な金を、代々、各代の責任として現状のまま次の世代に引き継いでいます。これは投機や金儲けの対象ではないのです。

微笑ましい話ですが、家族に女の赤ちゃんが生まれると、日本では庭に桐の木を植えるという慣わしがありましたが、スイスでは誕生日ごとに金貨を1枚ずつ買ってあげて、アルバムにその時の写真と金貨と一緒に貼っていくんです。それを嫁ぐ時ヘソクリの原資にしろと母親から娘に渡すわけです。とても微笑ましいことです。それがそもそもヨーロッパにおける金の原点なんです。

日本の場合、その先の金儲けとか投機とかが最初に来てしまうのは非常に残念に思います。本来金というのは、家族の宝物で親なりおじいさん、おばあさんの愛情を捧げるものだという認識があります。

それから、私は金には縁がないという人が多いのですが、非常に身近で、携帯やパソコンには必ず金が使われています。全世界で500tが使われています。現在金の価格が上がっておりまして、日本で儲かる商売はリサイクルなんです。パソコンや携帯をリサイクルしてその中から金を回収するというビジネスが非常に日本では儲かります。ハイテク需要が一つです。しかし需要の7割は、女性の身を飾る宝飾・ジュエリーです。この部門で中国やインドの女性を中心として金を買われています。それから資産として金貨や金の地金を買われる。一言で金と云いますが、この3つの需要の部分があるということです。

ニューヨークにある大手銀行の金が保管されている金庫（写真参照）。これは誰の金かという、アメリカの年金が運用しているものです。カリフォルニア州の職員の共済年金基金、その運用として金の地金を買われてここに納められている。この金庫の中に450トンの金があるわけですが、だいたい中国が2年間に消費するのと同じ位の量です。それを1年間でアメリカの年金が買った事で金の価格が上がっているわけです。問題は年金がなぜ今、金を買うのか？それも先物ではなく現物の形で。一言でいうとインフレ懸念です。年金の運用で大事なものは我々が、受給年令に達するまでの間、受給年令に達してからもらい続ける間、その購買力が維持されることが大事で、ファン



ドマネージャーは、原油の価格も上がっているし、少しでもインフレに対する備えをしなければなりません。それも今日・明日の話ではなくて10年20年先です。10年20年先に何が起るかわかりません。何が起るかわからないからからこそ現物を金庫に預けるわけです。とても面倒なことです。保管料も掛かります。もしこれから10年20年の間に物の値段が上がるといったときに何が起るかという株とか国債とか銀行預金は目減りしますが、「金」というのは歴史的にそういった時にその価値を維持するという特徴があります。そういうことを考えてアメリカの年金が受給者のためにわざわざやっているのです。これは、決してアメリカだけの話ではなく、すでに日本でも我々の普通の年金の運用でこういう物が少しずつ入って来ています。だいたいアメリカで起っている事は2年位の時間差を伴って日本に入ってきますから、おそらく来年から再来年にかけてこういう現象が日本でも起きるでしょ。例えば私はこのような講演を依頼されますが半分は年金基金の集まりです。企業年金の



理事さんたちが集まって金について勉強する。こういう席で私がレクチャーしています。日本では既に、東日本文庫厚生年金基金が2割を入れています。そういう時代が来ています。日本経済新聞でも記事になって公表しています。実はもう日本にとっても我々にとっても人ごとではない。大事なのは、年金ということですから、考え方は同じで、決してプロだからといって特殊な考えでなく、私達の年金の運用・老後の資産の運用にも共通した問題といえます。私達の年金はインフレに対して全く裸である。要するに防御がないのです。この20年間そういう心配をする必要がなかったのです。私が社会に出て暫くして、オイルショックが2回ほどあり、あの時には物価も上がり給料も2割くらい毎年上がりましたが、そういう時代にはインフレの心配もあったけどその後、急に世の中がデスインフレとかデフレになって、プロの年金を運用する方にして、インフレの心配をする必要もなかったし、考えたこともなかった。ところがここにきて急に原油が上がり始めてインフレ懸念ということがいわれるようになり、世の中やはりデフレが終って心配するのは、インフレですね。マーケットのプロというのは常に3年先を見ますから、3年先を読んで次はインフレだなと、プロが買い始めて今金が上がっているのです。いずれにしても大事なのは、日本人でも年金・老後の備えに対する考えは同じであるということ。非常に怖いのは、やはり年金がインフレのリスクに対して裸であるということ。もし今これで物価が3割4割上がったら、年金は確実に3割4割目減りするわけです。私は一ツ橋出身ですが、最近怖いのは霞ヶ関の金融庁や財務省で働いている同期の人間達ほど金を買いたがるんです。同期会なんかで本当に「金」って良いのか？と聞かれ、個別に電話があり、金を買いたいんだがどこで買ったらいいのか？と相談してきます。自分がリタイアする時になって個人的に備えをしなくてはという事で、私の話を聞くとそういう発想になって来るそうです。権力の中枢にいる或いは情報の中核にいる人ほど金が何故必要か実感でわかるんです。霞ヶ関に長く働いていた連中ほど日本経済の怖さ、これからのインフレのリスクを体で感じて自分で経験しているから、自分がそういう立場になると真っ先に金を買いたがるのが怖い話だと思っております。そういう背景で世界的に今、年金が受給者のために金を買っているという時代です。

今金を買っている人が非常に増えている中、チャイナマネーといって中国の女性が金を買うだけでなく、今や中国は日本を追い抜いて金外貨準備世界一の国といわれています。アメリカに輸出して儲けたお金の一部で金を買っています。次にオイルマネー。原油が上がったのでタナボタで儲けた中東の人達・王様・ファンドマネージャー、これが今金を買っている。それからインドマネー。インドはすでに、現実に断トツで世界一の金の消費国です。それからジャパンマネー。最近はその間に日本のお金も1,500兆円。

このように世界各地で金の買いが起こっていて、問題はそれに対して金がどれくらい生産されているかということです。これは事実ですが統計的にみまると、今、金の価格が倍以上になっているが、この3年間金の生産は8%しか増えていない。金がどれ位残っているかということ、確認されている埋蔵量は7万トンといわれますから、この調子で毎年消費されると30年間でなくなる。これからのハイテク技術で埋蔵量は増える可能性もあります。世界中の地下にどれ位金が眠っているか。しかし問題なのは掘るのにいくらかかるかということです。3,000~4,000メートル掘ってやっと出てくるという状況です。日本でも非常に有効な金鉱脈が最近見つかった。それは、伊豆半島の沖、太平洋の海底にあると確認されています。これを掘るのが問題で、原油も海底油田というのがありますが、原油は物理の法則で穴を掘れば出てきますが、金はそういうわけにはいきません。海底1,000メートルからさらに2,000メートル掘るのにどの程度の設備投資・コストがかかるか？専門家にいわせると1グラム1万円になっても合わないでしょう、ということです。だから生産が増えないんです。世界中で金が足りないのです。ここで注意して欲しいのは、こういう話はプロはすでに知っているわけですから必ず、悪乗りする人がいるんです。ちょっとでも投資に妙味があると思えば、お金持ちから金を集めて、金を買うのではなく金の所有権を先物で買う。そういう人達が今ヘッジファンドといわれてここぞと買うのです。こういう人達は引くのも早いんです。この1~2週間、こういう人達は株・土地・金もやっていて、株で大損を儲かっている金を売って埋める、そしてファンドの出資者に配当する。全体の帳尻をつけると言う事で金も下がっています。我々個人投資家にとっては迷惑な話ですが、避けがたい現象です。こういう人達は、金と地金を持ち続けるわけではないのです。今日買ったものは、間違いなく3か月以内には売ります。早い場合には3週間以内で売ります。欲しいのは利益(儲け)ですから、金の地金が欲しいのではなく差益だけが欲しい、それを配当するんですから。必ず買ったものはすぐに売られるということは、よく昔ゼロサムของเกมといわれました。全体としてパイが増えない、株・金・外替でも同じですが最後に大きな10年20年の流れを決めるのは、中国の女性が金を買ってる、アメリカの年金が金の地金を買ってる、オイルマネーが中東の王様が金を宝飾に買ってる、こういう世界です。買っぱなしですから。そういう部分が実は金の需要で、そういうものが今増えて金の価格が上がっている。重要なのは大きな流れの中で金の価格が上がってきているということです。

消費税率アップで駆け込み需要がまたまた発生か？ということかといえますと、将来15%に消費税が上がっ

たらどうなるかという、今買う時は 5%払う、売るときは 15%戻ってくる、今日本はそういう税制なんです。これは分かりやすい話なので、個人投資家も金を買うんです。

税金絡みは金の地金だけでなく、金の仏像、おりん、位牌、これは金の世界では仏の 3 点セットといわれてやたらに売られています。これも税金の優遇なんです。相続税がかからないんです。つまり宗教上の対象なんです。特に仏像よりはおりんの方が付加価値が少ないので得という理由で売られています。また悪乗りをする人がいて、金のおりんを 10 個も 20 個も買って税務当局から指摘された話もあります。

金は資産として捕捉できない部分があるので、そういう意味で悪用されてきたということもあります。また、法すれすれの線で保有されるという例も多かったわけです。投資セミナーとかでこういう話をすると、貴金属店で金を買うと名前は出るのか？税務調査が入ったら買った人の名前は出るのか？必ずそういう質問がでます。もちろん店の方から、自主的に名前を出すことはないが、調査が入れば出します。もう一つポイントは、実際に金を買う時は申込書を出すわけですが、買う時には身分証明書は要りませんが、売るときは身分証明書が必要になります。偽名を使って買うと売るときにばれてしまいます。それが買った時の伝票を持っていくと身分証明書が要らないんです。偽名でも売れるんです。

税金関係では、不動産との比較で今、金の価格が上がっても金を買う人が多いんです。金の千両箱が今すごく売られています。1枚6~8万円する金貨が100個も200個も南部の職人が作ったアンティークの箱に入っているんです。買っている人に意識調査をしたところ、ものめずらしさで買っているのではなく、殆どが相続資産として買っているんです。理由は3つあります。1番目は固定資産税が全くかからない。2番目はいつでも売れる。3番目は、小分けできる。不動産だと醜い争いが起きる。子や孫が多いおじいさん、おばあさんが圧倒的に買っています。我々も改めて調査して分かったことなんです。

もう一つ売れているのは、老後に毎月1枚ずつ小遣い代わりに現金化していくため金貨で買うんです。例えば5万円の金貨だったら5万円相当の小遣い、老後になったら現金化していく。10年20年先を考えれば、価値を維持するという面では圧倒的に銀行預金よりは金の方があてになる。そういう意味で今団塊の世代の人たちが金を買っている。相続にしても、老後の貯えにしても、リサーチすると切実な理由が出てきます。

金貨というと昭和天皇のご在位60年記念金貨(10万円金貨)の話が出て、あれはあくまでも硬貨ですから、10万円の買い物ができるという通貨です。記念金貨としてプレミアムが付くかと言うと900万枚発行したので希少価値はありません。金の価格が上がろうが下がろうがこれも関係ないです。この金貨を企画して発行した方(ミスターエンの榊原さん)が最近よくマスコミに出てきますが、大蔵省国庫第一課長(20年前)の時これは絶対妙案であるという企画しました。なぜ妙案かという、国全体が財政赤字で大蔵省としても少しでも財政赤字を埋める必要があった。そこで彼は考えた。金を4万円くらい使ってそれを10万円で売れば儲かると。その当時4万円位の価値の金20グラムを額面10万円にした。国庫収入で6万円入ります。大蔵省としては補填ができる。もう一つアメリカとの貿易バランス、圧倒的に日本の輸出の方が多いため、アメリカから物を輸入しなければならぬ。この金をニューヨークから成田に輸入すればその分だけ貿易赤字が減るということで、南アフリカで取れた金をわざわざニューヨークに持ってきて、貿易のドキュメント上は大量の輸入ということになります。彼は大蔵省の職員としては財政赤字・計上貿易問題の一石二鳥で妙案だったんですといまだに言っています。買う方にすればなんか騙されたような感じを持つわけですが、騙されたわけではないのは10万円は10万円です。例えば100円銀貨も100円の価値はないし、10円銅貨も同じです。実際に使われている金属の価値が額面を上回るようでは、良からぬ方が出てきますから、そういう仕組みにはなってないわけで、これは騙したわけではないがこういう裏話があります。これには最後に落ちがあって、4万円の金を使って10万円の額面で売れる。これに目をつけたのは中近東の偽金業者。普通偽金というのは、金ではないものを使って売るのが今までの方法だった。でも天皇金貨に限っては堂々と金を4万円分使って日本に持ってきたんです。外国には必ずそういうところに目をつける方がいるんです。中近東の人は正々堂々と4万円の金で同じデザインの金貨を作ってそれを日本に密輸入すれば、10万円の買い物も預金もできるわけですから。という事で発行されたのが20年前(1986年)でして、89年から90年にかけて大量の偽物が出回ったんです。本当の金を使った偽物。この偽物が大蔵省の造幣局で偽金の鑑識・鑑定にかけては、第一人者という方に持ち込まれ、これを本物と鑑定するという大失態が起きました。普通

金貨というのは、ウィーン金貨、メープルリーフ金貨、カンガルー金貨の海外の金貨を投資なんかの目的で買うのは額面といっても、1,000円位にするんです。実際4万円の価値のあるものを1,000円位にしておく、そうすると今話したような不都合は起きないんです。それらの金貨が実際どう取引をされるかというと、その時の金の重量の価値、ちなみにウィーン・メープルリーフ・カンガルー金貨は1オンス(31グラム)の金の価値で売買されるんです。額面がい



くだらうが構わないのが普通なんです。でも榊原さん、ちょっと鼻の下を長くして大蔵省が儲けようとしたから、結局そんな落ちが付いたというわけです。

千両箱で買われているようなものはだいたい次の3種類です。ウィーン金貨・メープルリーフ金貨・カンガルー金貨、純度が99.99%で1オンス、1/2オンス、1/4オンス、1/10オンスと4種類あります。金貨というのは使い道が色々あって、私が2、3日入院した時、担当の先生へのお礼に2万円の金貨を差し上げたら、大変感激してくれて、金貨というのは貰った方には嬉しいものなんです。ゴルフのホールインワンや、孫へのお年玉とかそういう例もあります。金貨の良さと言うのは、現金の生臭さが消える、デザインもカンガルーとかメープルとかウィーンとか、可愛らしいじゃないですか。そういう意味でほのぼのとした感じがします。

金というのは一攫千金で何倍にもしようというのではなく、じっくり持っているときにいい味を出すもので、逆に相場で当てようとするときれほど難しいものはありません。私はスイス銀行でこの相場のプロのトレーダーで12年間、金の売買を毎日やりました。12年間やりますと少なくとも3,000回は相場をはっています。1,600勝1,400敗、相撲で言うところには8勝7敗です。朝青龍の13勝2敗なんてありえないですから。私はプロとして15回相撲をとらせれば8勝7敗の自信はあります。だから12年間続けられたんです。でも5回だけの勝負だったら負けるかもしれないですね。でも15回やらせたら絶対負けません。そこがプロとアマチュアの違いですから。株とかドルとか金とか短期的な相場は知りません。それは自分が12年間身を持って経験しているからです。私は毎月1万円ずつ金を貯める地味な純金積立をしています。売買して結局儲かるのは手数料が入る業者なんです。実際自分がお客の立場に立つと何も知らない、ただじっと持ってる、これが一番です。株もドルもユーロもそうです。非常に地味です。人間は欲に取り付かれる動物だから、雑念が沸くんです。株もドルも気になります。買ったとたん冬眠でも出来ればいいんですが、買って忘れることほど難しいものはないです。



今は自己責任の時代ですが、教育もしないで自己責任というのは無責任な話です。ただ、そういう制度になってきているんだから仕方がないことです。今リスクのない資産はないわけで、リスクに対するには自分の欲というものをコントロールしていかなければなりません。

私がプロになってスイスの銀行のトレーディングルームで教わったのは「今日は今日、明日は明日」、彼らにいわせると「日本人というのは向いていない、なぜなら長期的にももの考えすぎる」というんですね。相場というのはパッと頭の切替ができないと駄目だといわれて、そうはいっても私は日本人ですからそういうのが抜け切れなくて、チューリッヒの本店にいた時でも、必ず勝った日、負けた日あるわけですけど、負けた日なんかは落ち込んで、なんであそこで売っちゃったのかなとか、なんであそこで買っちゃったのか後悔しながら翌日まで引きずっていたんです。ところがスイス人の同僚は負けた日は、飲みに行こうという感じで自分の家に付く頃にはすっかり忘れてるんです。私の経験でスイス人、華僑、ユダヤ人、この人達はお金に長けているといいますが、共通して言えるのはその切替が早いということです。日本人というのは非常に難しいです。だからこそ自己責任というのは非常に無責任だと思う。これからのヒントとして切替を早くする、好むと好まざるに関らず皆さんも個人投資家の一人なんだから、投資していないって言ったって、これからそうしなくてはならないんだから自己責任の401Kっていうのは、そういう立場で考えると投資のリスクに対していかに自分の欲望と闘うか、コントロールするか、ますます大事になってくると痛感します。金も、ドル、株もそうですが、非常に困るのはヘッジファンドというような暴れ者が、相場で暴れていまして常に乱高下するわけですね。

最後にこれだけ申し上げたいんですけど、日本経済新聞とか朝日新聞の経済欄などあまり読んで考えない方がいいです。円高円安を例にすると、我々プロは例えば109円110円は円高で115円は円安と、110円で買って115円で売り抜けようと、こういう発想をするわけです。個人はそういう円高円安の発想をしても駄目で、円高といったら大体100円位で円安といったら130円、それくらい大雑把に考えることが大事なんです。ところが日経とかみていると、前日のニューヨークが113円45銭とかもう1億総トレーダーでデイトレーダーやプロになった気になって昨日より25銭円高になったとかいっているわけです。そんなことやっていると、木を見て森を見ず、全体の流れがわからなくなる。本当にそうなんです。だから自分がトレーダーのときに大量に金とかを買って、その後は何も見ない、新聞も読まない、テレビも見ない。自分が正しいと思込ませて、その取引が終るまでは自分の中で情報に接しない、これは特殊な例ですよ。プロだからね。ただそれくらい情報というのは多すぎると人の心は迷います。だからあまり日刊新聞の経済欄をプロになった気で読むのは間違っている、もっと大きな流れをぜひ見ましょう、ということで時間になりましたので私の話を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

【豊島逸夫氏経歴】

1948 年生まれ 一ツ橋大学経済学部卒 三菱銀行入社

スイス銀行入社ここで貴金属のディーリングを担当。

日本のゴールド・ディーラーの草分け ワールド・ゴールド・カウンシルに入社

現在、ワールド・ゴールド・カウンシル日韓地域代表 堪能な語学力を発揮し世界中を股に掛け活躍中

プロの経験と鋭い洞察力と分析眼は定評があるところで、経済紙にコメントが引用されるほかコメンテーターとしてテレビのニュース番組にもしばしば出演している。

ワールド・ゴールド・カウンシル(WGC)

世界の主要金鉱山会社 40 社によって組織された非営利法人です。日本からは住友金属鉱山と三菱マテリアルの 2 社が会員となっています。グローバルな金の需要促進を目的として 1987 年に設立されました。主要 17 カ国において調査研究、規制撤廃、広報など幅広い活動を行っています。なお WGC は金の販売には直接かかわっていません。

2. 委員会報告

・米山奨学生とそのカウンセラー対象のオリエンテーション

次年度米山奨学委員長 渡邊 俊樹

去る 5 月 27 日(土) ホテルマロウド筑波において、オリエンテーションが実施された。今年で 2 回目になる合同オリエンテーション、奨学生とカウンセラーとのコミュニケーションを取るには良い企画ではないかと思われた。合同セミナーにより奨学生の雰囲気も理解出来、一方奨学生の立場から見れば、カウンセラーに対する親近感も湧いてきて、一年間のカウンセラー活動がスムーズに行くようになるものと思われた。

今年度の米山奨学生は 24 名の学生が選抜され、昨年度の 29 名から 5 名減という現状になっている。

米山奨学事業の収支報告を見ると、04 年度において事業費として奨学金として支出している額が 15 億 3,900 万円、米山奨学寄付金収入が 14 億 4,300 万円円で差引 9,600 万円のマイナスとなっており、積立金等の取崩で収支のバランスを取っている状況です。

以上のことから、奨学生の対象人数が減少していることは仕方ないことと思われるが、やはり各会員の方々の寄付金が大きな財源となっています。支給対象奨学生の数をこれ以上減らさない様、会員の方々の深いご理解とご協力が戴ければと思っております。

今年度 06/4 ~ 07/3 の当クラブでカウンセラーをする奨学生は、ケニア出身の筑波大学大学院の 3 年生です。

氏 名 ギギ・モセス・ムリミ君 (34 才) 男子

以上です。1 年間宜しくお願いします。

にこにこBOX

6/15 20,000 円 累計 2,153,500 円

菊地君 ~ 本日は、豊島氏の卓話ご清聴下さいまして、ありがとうございました。

高木(博)君 ~ 週報に写真が掲載されました。

誕生祝 ~ 太田君

結婚記念祝 ~ 太田君

メイクアップ

中桐 (6/13 土浦南)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
69 名	13 名	56 名	12 名	77.19%

例会予告

6/29 臨時総会

会長・幹事退任挨拶、理事・役員事業報告

7/6 会長・幹事就任挨拶、理事・委員長事業方針発表

本日のメニュー
椀 野菜スープ仕立て
角弁当にて
和え物 湯葉とほうれん草の白和え
煮物 鹿児島黒豚の角煮
野菜煮添えて
蒸し物 湯もやしとブロッコリー添えて
かにシューマイ蒸し 芥子醤油
ご飯 白飯 じゃこの山椒煮

